

# 札幌市LRT推進協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

札幌市総合交通計画では、超高齢社会の到来、将来的な人口減少、地球環境問題への対応等を踏まえ、公共交通の役割がますます高まっているとして、公共交通を軸とした交通体系を確立することとしている。また、路面電車については、その特性を生かし魅力ある都心の創造に寄与するよう活用を図ることとしている。

そして、札幌市路面電車活用計画では、路面電車活用の3つの視点〈人の活動を支援促す交通環境づくり、人をひきつける魅力的な空間づくり、人の交流と新たな賑わいづくり〉や5つの重点取組〈①駅前通での歩道側を走行する路線の整備(サイドリザベーション方式による路線のループ化)、②ループ化の実現までに3両の新型低床車両を導入、③バリアフリー化やICカード導入等による機能向上、④車両や施設、街路空間等のトータルデザインの導入、⑤停留場からの地域の魅力発信と沿道空間の利活用における地域との連携〉の具体的な内容を定め、路面電車を都心のまちづくりに大きく貢献させることとしている。

平成24年度から平成25年度は、これらの計画の内容を踏まえて策定した札幌市LRT整備計画に基づき、国の地域公共交通確保維持改善事業を活用し、LRT整備を進める。

## 地域公共交通の現況

札幌市電(1路線、停留場数23)

札幌市営地下鉄(3路線、49駅)

JR函館線、千歳線、札沼線(26駅)

民営路線バス(北海道中央バス、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつバス、ばんけいバス、夕鉄バス 等)

## 札幌市LRT推進協議会開催状況

平成24年4月6日 協議会設立

平成24年5月28日 札幌市LRT整備計画(案)について協議

平成24年5月30日 札幌市LRT整備計画について合意

## 札幌市交通局生活交通改善事業計画の目標・効果

LRT整備により、年間利用客740万人の利便性を向上する。

(主な整備内容)

- ・路線のループ化
- ・新型低床車両の導入
- ・ICカード導入
- ・制振軌道の整備
- ・停留場のバリアフリー化
- ・運行情報システムの導入

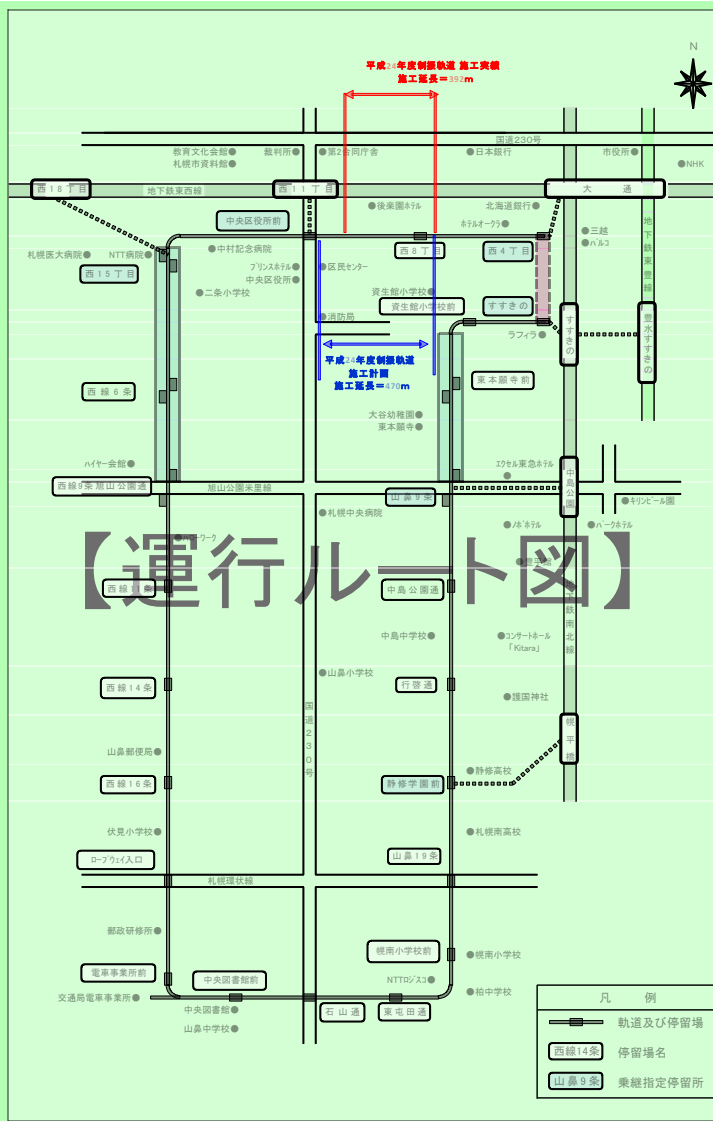
## 平成24年度事業概要

### ○制振軌道の整備

既設軌道の内側に振動を抑えるためのレールをもう1本設置して軌道間にゴムパッドを敷き、制振性に優れた軌道へと改良する。(施工区間:西7丁目～西10丁目)

# 平成24年度事業の実施状況

## 1) 工事施工箇所



## 2) 事業実施の適切性

平成24年度予算時の積算より工事費単価が増加したこと、また、街路拡幅事業により軌道の移動が見込まれる部分があることが判明したことから、施工延長が計画470mに対し実績392mとなったが、事業は概ね適切に実施された。

## 3) 目標・効果達成状況

計画に基づいて制振軌道の整備を実施することにより、年間利用客740万人の安全性・快適性の向上が図れた。

## 4) 事業の今後の改善点

平成25年度も引き続き札幌市LRT整備計画に基づき制振軌道の整備を進めていく。  
平成25年度は平成24年度未実施部分を含めて460m実施する。残りについては街路拡幅事業の実施時期に合わせて実施する見込みである。

## 5) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

引き続き、レールや舗装等の経年劣化の状況を調査し、計画的に実施すること